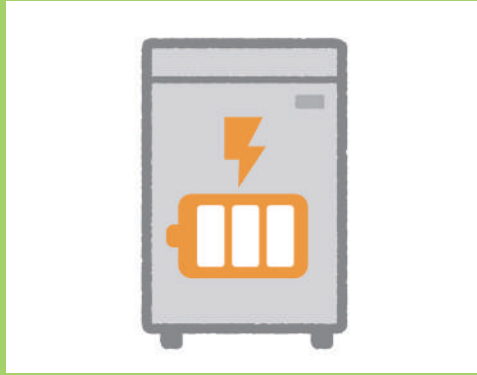


みんなで安全・安心なまちづくり



公共施設の管理計画

避難所となる学校や市民体育館などの公共施設は、災害時に大切な防災施設となります。公共施設の中長期的な管理計画を作るとともに、災害対応の拠点となる庁舎整備に取り組んでいます。



避難所の非常用電源 感染症対策

災害時の大規模停電に備え、スマートフォンや夜間照明などの電源として、持ち運び可能なソーラーパネル付蓄電池を避難所に配備しました。また、感染症対策として簡易テントやパーテーションなども配備しました。



幹線道路の浸水対策

浸水により幹線道路が通行できなくなると、災害対応や救急搬送に大きな支障をきたします。大雨により府道交野久御山線の京阪電車高架下はこれまで度々浸水していたことから、道路沿いに雨水を一時的に溜める調整池を整備しました。

みんなで安全・安心なまちづくり



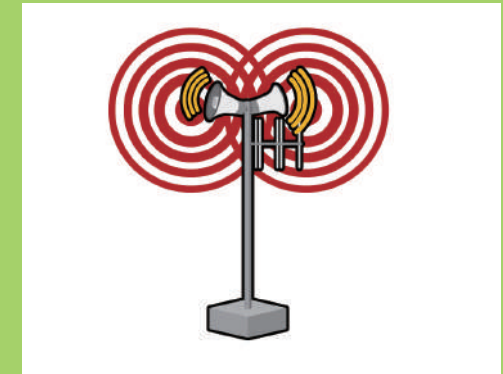
総合防災マップの全戸配布

これまでの土砂災害マップに加え、浸水や洪水など水害のハザードマップを追加した総合防災マップの改訂版を全戸に配布しました。



災害対策の協定

災害時に、上空からいち早く被害状況を把握するためのドローン撮影の協定、避難所の簡易ベッドや間仕切りを速やかに調達するための協定、生活物資や非常用発電機用燃料などの提供にかかる協定を結びました。



防災・緊急情報の発信

新たなまちづくりに伴って、より広範囲に災害情報を伝えるため、防災行政無線の新設を進めています。また、ヤフー(株)と協定を締結し、「Yahoo!防災速報」による緊急情報の発信ができるようになりました。さらに、新型コロナウイルスに関する情報や災害等の緊急情報などが発信できるようにLINE公式アカウントを導入しました。

みんなで安全・安心なまちづくり



防犯カメラ・防犯灯の拡充

すでに通学路や公園に防犯カメラを設置していますが、その後も更新や増設を適切に行っています。また市内生活道路の防犯灯はLED化していますが、老朽化が進む免除川緑道などでも、緑道整備とともにLED化を進めています。



通学路の安全対策

IoTを活用した通学時の見守りサービス導入や、学校統合による通学路変更期間での見守り人員の配置、歩道・転落防止柵・グリーンベルトの整備など通学路の安全対策を進めています。



特殊詐欺対策の協定

高齢者をねらった還付金詐欺などの被害が絶えないことから、未然に防ぐための協定を交野警察署と結びました。通話内容を録音する旨の自動メッセージ機能を備えた機器を高齢者宅に無償で貸出するなどの対策を進めています。

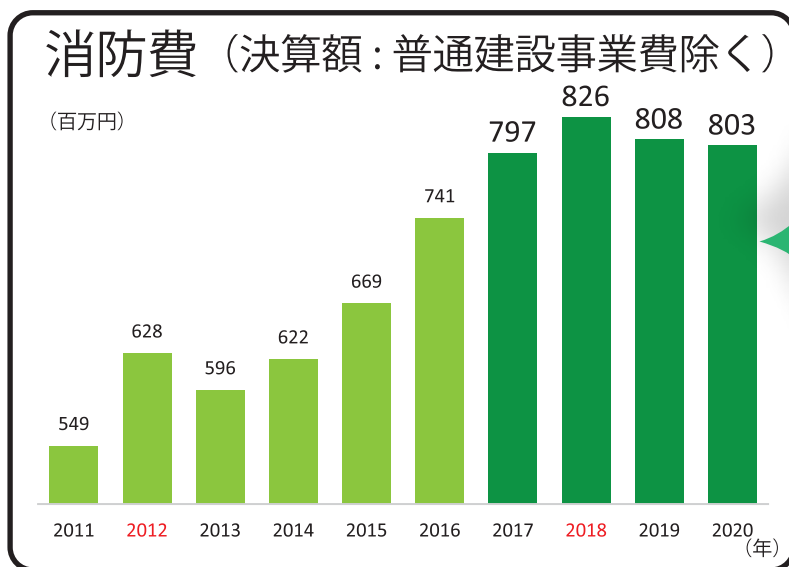
みんなで安全・安心なまちづくり



高齢者宅の防火診断

火災は人命に関わる日常災害です。地元消防団と協力し、特に独り暮らしの高齢者宅などを訪問し、火災報知器の確認など火災予防を積極的に進めています。

高齢社会や災害への備え→消防体制の強化



2011年度比で
2.5億円増
の消防費を確保

2012年 豪雨による土砂災害
2018年 大阪北部地震
参照：交野市調べ

高齢化とともに救急出動は増加し、また、全国各地で発生している自然災害は甚大化しています。市民の皆さまの生命・財産を守るために、消防職員の増員や通信指令システムのデジタル化など消防体制の強化を進めています。

みんなで安全・安心なまちづくり



木造住宅耐震化補助等の推進

暮らしの安全・安心を確保するため、市内の木造住宅の耐震化を目的とした補助（診断、改修、除却）や、倒壊する危険性が高いブロック塀の撤去・改修補助、土砂災害特別警戒区域にある住宅の撤去・移転補助の利用促進に取り組んでいます。



戦争体験集のデジタル化

戦争を知る世代が着実に高齢化していますが、平和の尊さを次世代に引き継いでいかなければなりません。誰もがいつでも見られるように、戦争体験集「平和の礎」のデジタル化を進めました。



多様性を認め合う地域社会

女性が活躍する会社を表彰する制度や、LGBTの方も安心して暮らすことを目指したパートナーシップ宣誓制度など、誰もが多様性を尊重する地域づくりに取り組んでいます。